

第30期事業報告

(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

概 要

当社を取り巻く経営環境は、高速道路無料化社会実験が6月19日で終了し、鉄道利用の回復が見込まれましたが、東日本大震災の影響、景気の低迷や冬場の大雪等異常気象による列車運休などの要因の他、沿線地域の人口減少、少子化や道路網整備の更なる進展などの要因も重なり、一年を通じてきわめて厳しい情勢が続きました。

こうした中で、外部環境による影響を出来るだけ小さくし、安定した利用を確保するため、便利で快適な、乗って楽しい鉄道を目指しました。具体的な取組みとして、オリジナルの鉄道グッズの販売、語り部列車「丹後七姫夏浪漫号」の運行、列車内での知事と和い合いミーティングの開催、国民文化祭のプレイベントとして宮津駅構内での音楽イベントの開催、エコファミリーやオレンジリボンキャンペーンの実施、映画「けいおん！」ラッピング列車の運行、アテンダントをモデルにしたフィギュアの販売を実施しました。また、花の鉄道づくりを進め、丹後への誘客と鉄道利用拡大を図るため「フラワーオーナー制度」を開始しました。カニを中心とする恒例の冬プランでは、JTB福知山支店との共同企画として販売しました。また、10月には学校法人成美学園成美大学・成美大学短期大学部との間で相互の連携を強化し、京都府北部地域における魅力づくりに資することを目的として包括連携協定を締結しました。

こうした取組みも大きな集客効果にはつながらず、輸送人員は、1,947千人(対前年比4.3%減)と大きく減少し、当期の旅客運輸収入は8億8,498万円(対前年比1.7%減)となり、前年を更に下回りました。

運輸収入を含む営業収入は、受取車両使用料がエクスプローラーの大阪乗入れの廃止に伴って1億7,035万円(対前年比33.6%減)と大幅な減少となったことなどから、10億7,578万円(対前年比8.7%減)となりました。

一方、営業費用は、社員の給与削減で人件費が7億1,763万円(対前年比10.1%減)となり、修繕費は、レール交換・橋梁塗装工事等で増加となり、5億373万円(対前年比6.8%増)となりました。また、動力費は、ダイヤ改正により燃料使用量は大幅に減少しましたが、軽油単価の上昇により、2億618万円(対前年比4.5%増)となりました。この結果、営業損失は、8億4,884万円(対前年比14.1%増)となりました。

営業外損益を含めた経常損失は、7億7,586万円(対前年比15.8%増)となり、地元自治体の運営費補助金等の特別損益を加減したところの当期純利益は7,592万円となりました。

貸借対照表

平成24年3月31日現在

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	949,577	流 動 負 債	624,715
現 金 ・ 預 金	378,965	未 払 金	100,730
未 収 運 賃	61,333	未 払 費 用	23,435
未 収 金	291,119	未 払 法 人 税 等	9,933
未 収 収 益	46,306	預 り 連 絡 運 賃	64,951
貯 蔵 品	103,526	前 受 運 賃	6,107
前 払 費 用	20,890	賞 与 引 当 金	26,000
未 収 消 費 税 等	20,949	設 備 未 払 金	294,476
仮 払 金	26,487	1年以内返済予定の 長期設備未払金	73,316
		仮 受 金	17,280
		その他の流動負債	8,483
固 定 資 産	2,295,210	固 定 負 債	633,978
鉄 道 事 業 固 定 資 産	2,263,555	退 職 給 付 引 当 金	28,709
投 資 そ の 他 の 資 産	31,655	長 期 設 備 未 払 金	591,044
		資 産 除 却 債 務	14,224
		負 債 合 計	1,258,693
		純 資 産 の 部	
		株 主 資 本	1,986,093
		資 本 金	1,400,000
		資 本 剰 余 金	510,171
		その他資本剰余金	510,171
		利 益 剰 余 金	75,922
		その他利益剰余金	75,922
		繰越利益剰余金	75,922
		純 資 産 合 計	1,986,093
資 産 合 計	3,244,787	負 債 純 資 産 合 計	3,244,787

損益計算書

平成23年 4月 1日から
平成24年 3月31日まで

(単位:千円)

科 目	金 額	
鉄道事業		
営業収益		1,075,788
営業費		1,924,631
営業損失		848,842
営業外収益		
受取利息	47	
運営助成金	55,936	
雑収入	30,784	86,767
営業外費用		
支払利息・割引料	1,890	
設備未払金償還諸費	11,473	
雑支出	429	13,793
経常損失		775,868
特別利益		
固定資産売却益	1,146	
補助金	1,134,744	
工事負担金	58,023	
その他の特別利益	304	1,194,218
特別損失		
固定資産圧縮損	315,469	
負担金工事撤去費等	20,505	
その他の特別損失	757	336,733
税引前当期純利益		81,616
法人税、住民税及び事業税		5,694
当期純利益		75,922